

呼吸リハのエキスパートが教える

PT・OT・STが呼吸リハを 基礎から実践まで深く理解するためのセミナー in 横浜

講師 渡邊 宏樹湘南藤沢徳洲会病院リハビリテーション室長・立命館大学大学院先端総合学術
研究科・呼吸療法認定士・心臓リハ指導士・心不全療養指導士
Knowledge Link代表

第1部 呼吸リハのための基礎知識

第1部は疾患の理解や評価法をマスターするためのセッションです。

呼吸リハの適応になる疾患（肺炎やCOPDや間質性肺炎など）を療法士としてどのように理解したら良いか、カルテにあふれる情報（胸部X線やCT、呼吸機能検査や血液ガスなど様々な検査所見）を療法士としてどのように解釈したらよいか、ベッドサイドで患者の身体から直接得られる情報（呼吸器疾患の患者に多い外見上の特徴や、特徴的な呼吸の仕方や呼吸パターン、聴診の所見など）をどのようにとり、解釈したら良いか。疾患の理解と評価法に特化したセッションです。

第2部 呼吸リハの実践

第2部は呼吸リハを臨床で実践するためのセッションです。

評価の結果を解釈し、方針を立て、実際の治療を行い、患者を快方に導く、この一連を学びます。呼吸の評価をどう解釈し方針を立てるか、実際の介入の仕方（コンディショニング、運動療法、ADLトレーニング）、リスクの捉え方と回避の仕方、早期離床と呼吸リハ、OT・STの最近の活躍、ケーススタディー、を網羅的に解説します。実際の患者の呼吸リハ場面の動画を多用しながら解説します。

第3部 排痰援助の実習

臨床で使える排痰援助あれこれを実習するセッションです。

ハフイング/ACBT・インセンティブスパイロメトリ・アカペラ・スクイーミング・スプリングング・ポストリフツなどを実習、体験いただきます。

セミナー内容

対象:PT/OT/ST

第1部 呼吸リハのための基礎知識 10:00～11:30

- ①呼吸リハの適応になる疾患（肺炎、COPD、間質性肺炎、神経筋疾患、周術期）の特徴を解説します。
- ②療法士が知っておくべき検査所見（胸部X線、CT、呼吸機能検査、血ガス）の見方を解説します。
- ③療法士が知っておくべき身体所見（外見上の特徴、特徴的な呼吸の仕方、呼吸パターン、聴診の所見）の取り方、解釈の仕方を解説します。

第2部 呼吸リハの実践 12:20～14:20

- ①呼吸リハビリテーションのエビデンス
- ②包括的呼吸リハとは何か

- ③コンディショニングの実際（呼吸法・排痰法（徒手や器具や機器を使う方法））
- ④呼吸器疾患患者の運動療法（運動の強さをどのように決めるか・リスクをどのように評価するか）
- ⑤ADLトレーニングの考え方
- ⑥最近の話題（呼吸筋トレーニング・フィジカルアクティビティ・OT/STの活躍）
- ⑦早期離床の考え方
- ⑧ケーススタディー（COPD・肺炎・神経筋疾患を例として）

第3部 排痰援助の実習 14:30～16:00

ハフイング/ACBT・インセンティブスパイロメトリ・アカペラ・スクイーミング・スプリングング・ポストリフツなどを実習、体験

日時

2024年12月14日（土） 10:00～16:00（9:30受付開始）

ウィリング横浜12階126号室 横浜市港南区上大岡西1-6-1

受講料 13,000 円（3名以上でお申込みの場合は11,000円/人）



ウィリング横浜

お申し込みは **Webサイト** で賜ります

ナレッジリンク

検索

<https://www.knowledgelinkreha.com>

ナレッジリンクHP